

【長崎図書館】

1 (柱01)一人一人に応じた最適な学びを提供する

成長の基盤となる資質・能力の育成

みんなで創る！ながさき読書活動推進事業【再掲】

2 (柱03)生涯にわたり誰もが学び、活躍できる地域づくりを推進する

生涯を通じて学ぶことができる拠点づくり

ミライオン図書館では、県立長崎図書館と大村市立図書館との共同運営により県民へのサービスを提供するとともに、県立図書館として、県内市町立図書館等の支援に努める。

県立長崎図書館郷土資料センターでは、郷土資料の収集・貸出しのほか、郷土に関わる資料の調査・相談サービスを実施する。またミライオンサテライトを設置し、ミライオン図書館の資料を取り寄せるサービスの提供も行う。

図書購入事業 (51,476千円)

図書館サービスの充実と県民の生涯学習活動の促進を図るため、幅広い分野の図書・資料を購入する。

(令和6年度末蔵書冊数：1,412,931冊)

図書館情報システム運営事業 (84,275千円)

(1) 県立図書館と大村市立図書館の資料を一体的に管理する図書館情報システムを運用し、利用者サービスの向上を図る。

(2) 県内どこにいても同等のサービスを受けることができるよう市町支援を推進し相互貸借の円滑化を図る。

(3) ホームページによる所蔵資料の情報提供に努め、利活用の推進を図る。

(ミライオン図書館ホームページ <https://miraionlibrary.jp>)

奉仕活動の充実 (25,514千円)

(1) 資料の閲覧、貸出、予約、調査・相談業務等の館内奉仕の充実

(2) 県民の仕事や生活上の課題解決を支援するため、資料のほか様々な情報を提供

(3) 市町立図書館等に対する支援

協力貸出(インターネット協力貸出(とりよせくん)含む)

レファレンスサービス等の充実

協力車の運行、一括貸出の推進

読書グループの支援

(4) 図書館利用に障害がある方向けサービスの実施

障害者ふれあいブックメールサービス

高齢者等有料配送サービス

読書バリアフリーサービス(視覚障害者等サービス)

(5) 遠隔地返却サービスの実施

【長崎図書館】

みんなで創る！ながさき読書活動推進事業【再掲】

すべての県民が地理的・時間的制約を受けることなく、県立図書館の役割である「県民の課題解決支援」サービスを楽しむことができるよう、電子書籍の整備や郷土資料デジタルアーカイブの充実を図り、県民の仕事や起業、生活や子育て・健康などあらゆる分野に関する支援を推進する。

(1) 電子書籍の整備

学術書や郷土資料などの電子書籍を整備し、県民の課題解決支援の充実を図る。

(2) インターネットによる利用者登録

図書館に来館することなく新規利用者登録をすることができ、電子書籍閲覧など各種図書館サービスを受けることができる。

(3) 郷土資料デジタルアーカイブの充実と利用促進

劣化の激しい郷土資料を中心に新聞、県公報、県史、郷土誌などのデジタル化を図り、既存のアーカイブシステムで利用者へ提供する。



ミライオン図書館 電子書籍HP



サービス紹介チラシ

郷土資料整備研究事業 (6,366千円)

長崎県に関する書籍、郷土出身作家等の長崎ゆかりの文学資料、県内の自治体や企業などが発行した資料、県内発行の新聞など郷土資料の積極的な収集、活用、保存に努める。



郷土資料センター閲覧室



特徴ある近現代資料

職員研修の充実

市町立図書館職員及び公民館図書室等職員を対象とした図書館実務研修会を年に3回開催する。